

# 品川支部

令和四年3月1日発行  
〒141-0022  
品川区東五反田1-8-5  
Tel 3442-7075

## 3月

天理教品川支部（豊英分教会内） 発行責任者 栗原薫 編集 支部編集部

## オリンピックのあとは 天理高の選抜高校野球

### 三年連続の天理は、広陵の25回 広島商の22回を上回る26回目で最多出場

十八日から始まる、第94回選抜高校野球では、天理高校は26回目の出場に参加32校のうち最多出場になります。

因みに夏の大会の出場回数は28回を数え、文字通り常連校と言われる所以です

今年の戦力は、やや打高(32校中6位)防御率低(同26位)ですが南沢投手は188cmの長身で打たせて捕るタイプで良いときは凄いんです打の方は、足の速い一番の藤森君、三番のキャプテン戸井君と四番内藤君は共に4割3分3厘と注目のスラッガーです

皆で応援して、青年会歌を何度も歌いましょう



甲子園球場



## ☆支部行事のお知らせ

・支部幹事会

三月九日(水)午後六時〜(櫻京にて)

・教区ひのきしん

当番は本荘組ですが中止となりました  
十七日霊舎ひのきしんも中止になっています

・支部例会

三月三十日櫻京分教会(二頁参照)

今回も状況によって決めますが二十日迄に決めますのでお近くの教会で確認して頂きたくお願い致します

・神名流し

在宅センターひのきしん

いずれも中止です

## ☆今年の全教一斉

### ひのきしんデイ

四月二十九日に行われます全教一斉ひのきしんデイは今年、区切りの九十周年を迎え品川支部では例年海浜公園で行ってありますが、現時点では予定通り行われることとして準備が行われております

この後のコロナ状況の様子見と言うところですが最終的には四月十日迄には確定させますので宜しくお願い致します

・学生担当委員会

学生生徒修養会大学の部は本部施設に於いて二回に分け実施されます

第一回 三月二日から六日まで

第二回 三月八日から十二日まで

各会二百二十名の定員で行われます

・少年会

今年夏の「こどもおちばかえり」は昨年と同じく「夏休み子どもひのきしん」を中心に八月最後の日曜日まで行われます

鼓笛隊に関しては、夜のパレードはありませんが、オンパレードで審査が行われるとのことです

教区からは、七月八月のいずれかで、こどもを中心とした「ひのきしん」の日を品川支部等、各支部で設定して実施して欲しいとのこと、支部で検討を始めています

・婦人会

天理教婦人会第百四回総会は四月十九日午前十時半から本部中庭で式典が行われます

尚、記念行事はありません

拠点教会	2日号	9日号	23日号 16日号と合併	30日号
日本橋	直送	手配り	手配り	手配り
本 荘	手配り	手配り	手配り	手配り
都 南	直送	手配り	手配り	直送
三ツ木	直送	手配り	手配り	直送
水豊田	手配り	手配り	手配り	手配り

時報手配り三月予定

品川支部の皆様、いつも有難うございます。

最近には世界での争い事やら国内では、自分のうらみをはらす為に刃傷事件やらおだやかでない事が起り、嬉しくない日々ですね。用木として本当に申し訳なく思います。

この中で少しは良い話しも聞きたい所です。よね、ちよつと良い話を紹介しますのでお読み下さい。

国歌「君が代」に秘められた  
本来の意味

君が代は、天皇崇拜の歌であるが、解釈される方が多いようです。実はそうでないという説を紹介致します。

この歌は実際に作られたのは、今から千年以上も昔のことです。九百五年のことです。

国歌「君が代」の  
本来の意味



櫻京分教会長  
辰巳源一

醍醐天皇の命によってできた「古今和歌集」の中の「賀歌」の代表作として納められました。のちに書かれた枕草子によると、平安貴族たちにとって、古今和歌集の暗唱は、常識だったのだそうです。

その古今和歌集で、お祝いの歌の代表作として紹介されたのが「君が代」です。

君が代はその後に出る新撰和歌集にも転載されています。つまり千年以上も昔から転載されるほど多くの人々に愛された歌であったということですが、しかしなぜそこまで、君が代は多くの人々に愛される歌となったのでしょうか。一つ一つ歌詞を見ていきましょう。

「君(きみ)が代は」実は古代日本語で「き」は男性、「み」は女性を表す言葉なのです。どちらか、日本神話に登場する、イザナギノミコト、イザナミノミコトからきています。イザナギ、イザナミの物語は、男女の物語なのですが、「きみ」は喜びの言葉であり、相手を敬う言葉となったのです。

そして「君(きみ)が代」とは、その愛し尊敬する人の時代という意味になります。

「千代に八千代に」これは愛する尊敬する人の代が、千年も、さらにいく千年も永久に栄えを祈っているという意味になります。

歌はさらに「さざれ石の巖となりて」続きます。

さざれ石は、細かな石で巖はそれが永い年月をかけて固まってできる大きな岩のことを指します。

ひとつひとつは小さな小石でも、みんなで団結したら、それは大きな岩となる。

つまりさざれ石は、「きみ」男女の結束、そして生れて来る子供達や新たに親戚となる者たちなど、そのすべての人々が、大きな力のもとで団結しあい、協力しあうことの象徴であると言われている。

そして最後に、「苔のむすまで」と続きます。

苔は濡れていて、水はけの良いところに生育します。

そして永遠に存在するものではなく、新しい生命が誕生し、古いものが死に土となり徐々に広がりをみせます。つまりこの苔とは子孫繁栄を表しています。

また「苔のむす」のむすを漢字で書くと「生す」と書き、生すとは子供を養い育てるという意味があります。

愛し尊敬する人の時代、千年、さらに幾千年もすべての人々が団結し、協力し合い、子孫繁栄を願う。こんな素敵な意味があったなんて驚きですね。

日本人として本当の意味を理解して、歌う機会があればこれからは、こんな意味を意識して歌うのもいいかもしれませんね。



# 品川支部例会

## 令和四年三月三十日 (水) 場所 櫻京分教会

(品川区西品川 1-16-5)

内容 おつとめ よろづよ八首 三下り目  
東京教区、支部連絡事項  
当該教会長 挨拶  
昼食の用意頂いてます

\*各教会の方のほかどなたでも  
(白足袋ハッピー着用)

